

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	低所得世帯児童クラブ指導料等補助事業	所管	市民経済部 青少年課
			Tel 2998-9103

事業の目的 (何の為に 行うか)	低所得世帯に属する小学校低学年児童及び小学校高学年障害児童が、市内児童クラブに入室した場合の指導料等を市が補助することにより当該世帯の生活の安定と児童の健全育成を図る
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	当該補助金要綱に基づき補助金交付を申請した世帯	対象とした数	127	世帯
		実際に 利用した数	104	世帯

活動の内容	(何を したか)	入室した児童の指導料等の支払いが困難な世帯を対象とし、補助金の交付を受けようとする者は、申請書に必要な書類を添付して申請する。申請に基づき審査して補助金の適否を決定して、当該申請者に通知する。							
活動実績	項目名	申請決定世帯数	104	項目名	決定率	0.818897638	項目名	単位	単位
		-----	-----		-----	-----		-----	-----
		単位	件		%	%		単位	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	13,996	15,375	15,375	45.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	申請世帯数	申請された世帯の件数	120	127	error
			-----	-----	-----
			単位	件	単位
			件	件	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	総合 評価	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
		拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	030800	TEL	2998-9103
事業コード	低所得世帯児童クラブ指導料等補助事業	担当部課	市民経済部 青少年課			
030805		グループ	児童育成グループ			
開始年度		平成	8	年度	→	終了年度
		平成		年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市総合計画及び実施計画			所沢市低所得世帯に対する児童クラブの指導料等補助金交付要綱				
	関連・類似事業	放課後児童健全育成事業							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かなくて健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	5節 社会保障	中柱	5 低所得者世帯への支援	小柱	(2) 自立のための相談・指導の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 3 位		・実施計画における位置づけ…H19 ○ H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード									
事業開始の背景									
児童クラブへの入室世帯の内、母子・父子世帯等の児童の入室が増加し、それに伴い低所得世帯層が児童クラブへの指導料等の支払いが困難となり児童クラブを利用できない状況が生じたため									

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	低所得世帯に属する小学校低学年児童及び小学校高学年障害児童が、市内児童クラブに入室した場合の指導料等を市が補助することにより当該世帯の生活の安定と児童の健全育成を図る						
	対象(誰を、何を対象としているのか)						
	当該補助金要綱に基づき補助金交付を申請した世帯			利用数の考え方 当該補助金交付要綱に基づき補助金交付を申請した世帯の内、補助金交付該当世帯			
	対象数	単位	平成 18 年度	122	世帯	平成 19 年度	127
		平成 19 年度	127	世帯	平成 19 年度	104	世帯
事業の具体的な内容及び実施方法							
入室した児童の指導料等の支払いが困難な世帯を対象とし、補助金の交付を受けようとする者は、申請書に必要な書類を添付して申請する。申請に基づき審査して補助金の適否を決定して、当該申請者に通知する。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )					
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
平成19年度からの国からの税源移譲により、所得税及び市町村民税の改正が行われ、同額の所得でありながら、今まで補助金の交付を受けていた世帯が、該当しなくなってしまうケースが生じることがあり、平成19年度に向けて基準の改正を行った。また、市税滞納者には補助金を交付できないこととし、市税納付の促進を図った。							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		12,592	13,996	13,996
	決算 (見込み含む)		12,592	15,375	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )
	正規職員人件費	0.30 人	2,760	人	0
	公債費				
	事業費合計		15,352	15,375	
	財源内訳	一般財源	15,352	15,375	13,996
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			45.4	45.3	
利用数一単位あたり(単位:円)			155,070.7	147,836.5	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	申請決定世帯数	決定された世帯の件数	件	99	104	110
		決定率	決定/申請	%	81	82%	
	成果分析	申請世帯数	申請された世帯の件数	件	115	120	
			%	122	127		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	達成率	error	error	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	補助金の対象・補助金額について児童館生活クラブ保育料との減免基準との均衡を考慮していく必要がある。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定				
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	低所得世帯の生活の安定と児童の健全育成を図りながら、適正な補助内容について検討していく			
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	青少年担当参事 若山 忠明	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	評価日							

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	施策の体系			施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	2131 2221
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます		2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます	
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援		2仕事と子育ての両立の推進	
施策の方向	3経済的支援の充実		2放課後の子どもたちに対応した支援の充実		